

ワークショップの結果：市民ニーズや時代の変化に対応した市民への広報のあり方について グループ提案のまとめ

広報さっぽろ

【体裁】

- ◆ 「広報さっぽろ」より魅力的なタイトルにイメチェンしては？「魅力都市さっぽろ」とか SAPPORO マークとかもっと活用しよう！（グループ1）
- ◆ 編集に市民参加の機会を設けてほしい。見にくい誌面、良く分からない写真、文字のチェックを含め内容をチェックする。（グループ2）
- ◆ 「広報さっぽろ」色、文字などもっと読みやすく。区民のページを全体の半分くらいに増やして、身近な情報を多く。（グループ3）
- ◆ 目次が重要！本当に知りたいことを調べやすく。医療、生活等のくくりをわかりやすく。（グループ5）

【内容】

- ◆ 2誌に分ける！A：日々のお役立ち情報 B：市民自治、市の将来を語る。（市政についてPRされ、考えることができる）（1冊はうすく・コストダウン・市政・字も大きく・世代に合った広告）（グループ1）
- ◆ 高齢者・障害者向けの福祉情報を充実してほしい（セーフティネットの情報）（グループ2）
- ◆ 広報に目が向くように！年代別のCM、市民からの投稿、小説、日常生活にかかわる情報（グループ5）
- ◆ 札幌の魅力が市民に伝わる。→札幌市民であることを誇りに思えるように。（グループ5）
- ◆ 介護保険等の生活に必要な情報をわかりやすく。困った時の相談窓口を知りたい。（グループ5）
- ◆ 高齢者の生活に役立つ情報発信（詐欺防止、個人情報の扱い）（定期的な施設サービス等の情報）（グループ6）
- ◆ 問い合わせに役立つ窓口一覧を載せる。（グループ6）

【配布】

- ◆ 広報の配布について 手渡しすることで（高齢者の見守りツール）安否確認につながられないか？（グループ1）
- ◆ 「広報さっぽろ」の配布をお年寄の見守りにつなげていけると良い。（ボランティアの方を活用して）（グループ3）
- ◆ 近隣のつきあいを増やし、広報さっぽろをマンションの各玄関先まで届ける。（広報さっぽろをきっかけに、隣の人と話しませんかキャンペーン）（グループ4）

双方向コミュニケーション

- ◆ ホームページにメールで寄せられたご意見を公開し、その回答についても公開すると良い。（グループ2）
- ◆ 一方通行にならないように市民の声をもらって載せてほしい。（グループ5）

ホームページ

【他媒体との連携】

- ◆ 札幌市のホームページから広報さっぽろをQRコードでダウンロードできるようにすると早くて便利！（グループ2）
- ◆ ホームページのトップページにつながるようなモバイル版のQRコードが広報さっぽろとホームページにあると良い。（グループ3）
- ◆ ホームページの内容は良いので、ホームページへ誘導させる方法が大切。（広報さっぽろでもurlだけではなく、構成内容を詳しく紹介）（グループ4）

【内容】

- ◆ ホームページはもっと見出しをわかりやすく。（グループ6）

広報・広聴事業のPR強化

【広報事業のPR】

- ◆ 広報も税金がかかっていることをもっと紹介する。（税金、お金に関する情報をわかりやすく出す）（グループ4）
- ◆ 市のゆるキャラ（をつくる！）が、大通、地下鉄、オータムフェスタ、札幌ドームなど集客する所で、情報誌を手配りして認知度を上げる。（グループ4）
- ◆ 広報番組をもっと見てもらえるよう番組内容を伝える。番組の存在をもっとPR。（グループ6）

【コールセンターのPR】

- ◆ 「困った時はまずコールセンター」というのもっとアピールすると良い。（グループ2）
- ◆ 「何かあったらここに！」という札幌市の窓口電話番号が1つだけあると良い。コールセンターならフリーダイヤル（無料）に。（グループ3）

多様な媒体の活用

- ◆ インターネットだけでは見れない人に届かないので、やっぱり紙は大事。ネット、紙面、コールセンターなど様々な手段のさらなる充実を。（グループ1）
- ◆ 地デジdボタンを活用しよう！！インターネットよりお茶の間に近い情報発信が！！（グループ1）
- ◆ 高齢者向けに耳から得られる情報の内容、頻度を充実させる。（イベント情報だけではなく市政情報、印象に残るようなラジオ番組の演出、キャッチフレーズ）（グループ4）
- ◆ 誰にでも平等に伝わるよう、方法、時間、場所を多様にし、工夫する。（スーパー等の協力、広報車）（グループ6）

その他（市民便利帳）

- ◆ 「市民便利帳」には、わかりやすく情報が載っているので、全家庭に配布されると良い。（グループ3）